

会員施設・事業所の長 各位

『第6回 全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール』
作文募集へのご協力をお願い

昨年度は全国の小・中学校から合計１８７０作品（小学校５２０、中学校１３５０）、また県内では、小・中学校から１８７作品（小学生１２５、中学生６２）の応募がありました。

つきましてはご多忙の折、たいへん恐縮ですが、今回も各位におかれまして、平素から貴施設・事業所と交流、あるいは関係のある地域の小・中学校へ直接出向き、今回の作文募集へのご理解とご協力、ご応募をお願いしていただきたいと存じます。

小・中学生の時代に障害者福祉について考え、あるいは体験すること、そしてそれを文章化すること、それらは彼らの人生にとっても、彼らの暮らすその地域社会にとってもたいへん意義のあることだと思います。今回の作文応募が次代を担う彼らの人生において、その端緒となることを心から期待しております。

同封資料

- 1) ポスター ○枚
2) リーフレット (応募票 A・B) ○枚

なお、一昨年度（第4回）は公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長賞を、また昨年度（第5回）は厚生労働大臣賞と公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長賞を本県中学生がそれぞれ受賞されておられます。たいへん喜ばしいことと思います。

令和元年5月27日

山口県内

各小学校校長 様

各中学校校長 様

一般財団法人 山口県知的障害者福祉協会
会 長 古 川 英 希
(社会福祉法人さつき会さつき園園長)

『第6回 全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール』

作文募集へのご応募のお願い

日頃から、学校教育現場での障害者福祉への理解促進、また、福祉体験学習等による障害者福祉体験への格別なるご配慮ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。心から厚く御礼申し上げます。

さて、私ども一般財団法人山口県知的障害者福祉協会が所属しております公益財団法人日本知的障害者福祉協会では、全国の小・中学生を対象に『全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール ～わたしにとっての障がい福祉～』を平成26年度から実施しており、本年度も別添要綱により第6回を実施することといたしました。

昨年度は全国の小・中学校から合計1870作品（小学校520、中学校1350）、また県内では、小・中学校から187作品（小学生125、中学生62）の応募がありました。

しかしながら、このコンクールの各小・中学校への周知はまだまだ不十分な状況ですので、皆様に格段のご理解とご協力とご尽力をよろしく願います次第です。

つきましてはご多忙の折、たいへん恐縮ですが、校長先生を始め諸先生各位におかれましてはその趣旨をご理解いただき、児童・生徒諸君へ作文の応募についてお勧めいただきますよう、ご理解ご配慮ご協力をよろしくお願い申し上げます。

小・中学生の時代に障害者福祉について考え、あるいは体験すること、そしてそれを文章化すること、それらは彼らの人生にとっても、彼らの暮らすその地域社会にとってもたいへん意義のあることと思います。今回の作文応募が次代を担う彼らの人生において、その端緒となることを心から期待しております。

なお、一昨年度（第4回）は公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長賞を、また昨年度（第5回）は厚生労働大臣賞と公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長賞を本県中学生がそれぞれ受賞されておられます。たいへん喜ばしいことと思います。